

自由な発想 表現楽しむ

長者中3年生

「フルイドアート」制作体験

八戸

八戸市立長者中(薫川誠校長)で10日、絵の具の流動性を生かした絵画「フルイドアート」の制作を体験する特別授業が開かれた。3年生84人が、自由な発想や世界観に基づいて、作品作りを楽しんだ。

(丹代裕介)

10月の文化祭で展示へ

フルイドアートは、ア画材を用いず、絵の具のクリル絵の具やシリコン 流れやすさや混ざり合い オイルなどを用いて、キ によって作品を作り上げ ヤンパスに幾何学的な文 るのが特徴的だ。

特別授業は同校3学年 様を描き出す新感覚のア ートを。絵筆や鉛筆などの 委員会(金入教人委員長)

の主権。美術の経験や得 手不得手を問わず、生徒 に芸術や表現の楽しさを 知ってもらおうと企画し た。

この日は現代美術を専 門とする、八戸学院大短 化祭で展示される予定。

期大学部幼児保育学科の 池田拓馬准教授が講師を 担当。生徒は配色を工夫 したり、絵の具を垂らし たキャンバスを手につっ て傾けたりしながら、思 い思いの作品を作り上げ ていた。

初めてフルイドアート に挑戦した金濱のぞ美 さん(15)は「緑や白の絵 の具を混ぜたら、幻想 的できれいな文様がで てきた。良い作品ができて うれしい」と満足げだっ た。

完成した作品は、10月 20日に同校で開かれる文 化祭で展示される予定。



生徒の個性が光るフルイドアート